

世界のクラフトビール産業分析レポート、成長、機会、トップメーカー、サイズ、シェア、トレンド概要 - 2024-2036年予測

クラフトビール市場の分析

クラフトビール業界は、世界中でビールパブや地ビール醸造所が急増し、拡大している。これらの小さな会社は、特にヨーロッパ、アメリカ、アジアにおいて、ビール愛好家をより熱心な常連客に変える手助けをしている。日本における業界の成長は、クラフトビール文化や地ビール醸造所の出現によって一部後押しされている。



この報告書はこちらから請求できる: <https://www.sdki.jp/sample-request-86916>

クラフトビール市場に関する我々の調査によれば、以下の市場動向と変数が市場成長を支えるものと予想される:

健康志向の高まり: 健康・ウェルネス志向の高まり: ユニークな風味のビールを造るため、多くのクラフトビールメーカーは、果物、ハーブ、スパイスなど、地元で採れる天然素材の使用に力を入れている。これは、顧客のウェルネスと健康への関心の高まりと一致している。消費者の健康への関心が高まるにつれ、天然素材やオーガニック素材の人気が高まっている。人々の健康とフィットネスへの関心が高まるにつれ、クラフトビール分野でも同様の傾向が見られると予想される。

観光と醸造所訪問の増加： ビール祭りや醸造所見学は、住民や観光客を引き付け、地域の醸造所やクラフトビール業界の売上やブランド認知度を高める。

日本の地ビールメーカーがクラフトビール市場から収入を得るチャンスはどこにあるのだろうか。

日本のビール会社は、特にZ世代やミレニアル世代のビール愛好家に対応するため、より多様なフレーバーやスタイルを提供し、技術革新の先頭を走っている。持続可能性は、日本のビール業界に影響を与えるもう一つの重要な要因である。ビール会社は環境に優しい手順を採用し、二酸化炭素排出量を減らすことに集中し、特にガラス瓶のリサイクル・イニシアチブを推進している。

多くの旅行者が珍しいビール体験を求めるため、観光部門も[クラフトビール市場](#)の地域参加者にいくつかの展望を提示している。eコマースのおかげで、より多様なクラフトビール製品が顧客に提供されるようになり、クラフトビール・ビジネスのリーチも大きく広がっている。

市場の懸念

クラフトビール醸造所の大幅な増加により、現在では激しい競争が繰り広げられている。クラフトビール市場が直面する最大の問題のひとつは、小規模な醸造所が混雑した市場で差別化を図るのが難しいということだ。

原資料：SDKI アナリティクス